

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	平成28年度 清須市文化財保護審議会
開催日時	平成29年3月17日（金） 午後2時00分～3時30分
開催場所	清須市役所北館 2階 第3会議室
議題	1. あいさつ 2. 議題 (1) 平成28年度事業報告について (2) 平成29年度事業計画について (3) その他
会議資料	・会議次第 ・資料1 平成28年度事業報告について ・資料2 平成29年度事業計画について ・資料3 清須市文化財関係等一覧表
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	1人
出席委員	後藤委員、箕浦委員、加藤（富）委員、水野委員 津田委員、加藤（安）委員
欠席委員	2人
出席者（市）	齋藤教育長、寺井教育部長
事務局	（教育部生涯学習課） 栗本課長、近藤主幹、藤田係長、葛西主査、小出歴史文化振興嘱託員、前田歴史文化振興嘱託員
会議の経過	1. あいさつ 後藤委員長あいさつ 教育部長あいさつ 2. 議題《意見の要旨》 (1) 平成28年度事業報告について 事務局より、別紙資料1、3に基づき文化財保護に関する平成28年度の事業報告について説明。

- 後藤委員長 こけら経の保存処理の方法とはどのようなものか。
- 事務局 出土した状態のこけら経は経年変化で脆弱な状態であるので、こけら経の水分と樹脂を置き換えて強化する方法です。これにより、長期的な保存や展示が可能となります。
- 津田委員 名古屋城下で花火が禁止されていたこともあり、清洲花火関連の資料は大変貴重。山車を組立てて復元できないか。また、整理をし、花火関連の資料を一括で市の指定文化財としたらどうか。
- 事務局 花火関連の資料については、平成28年度歴史展示室開催の「懐古清洲花火館」開催時に整理を行い、データ化し文化財収蔵庫で管理している。田中町の山車についても従来どおり保管を行っている。
- 加藤(富)副委員長 新市になってから市の指定文化財に一件も指定されていない。清洲花火関連の資料を残して欲しい。田中町と神明町に分まで保管・保存して欲しい。
- 事務局 所有者の神明町の意向もあります。
- 加藤(安)委員 こけら経については、平成29年度に保存処理が終了するとともに報告書ができると思う。問題なく市の指定文化財となるのではないか。また、市の指定となれば、県指定も見越せるのでは。
- 事務局 そのようなスケジュールで進めていきたいと考えています。
- 後藤委員長 五条川の総合治水対策特定河川工事にかかる埋蔵文化財発掘調査は既に終了しているのか。
- 事務局 その調査は平成27年度末で終了し、河岸の整備が進められています。
- 津田委員 春日江先の公共下水道雨水管整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の概要はどのようなものか。また、近隣の平田住宅で名古屋市教育委員会が行った調査ではかなりの成果があったと聞いているが。
- 事務局 雨水管を名古屋市部分と清須市部分とを接続する工事に伴うもので、実際に調査を行うのは雨水管を埋設するのに掘削が必要な部分のみ。該当地は朝日遺跡の集落縁辺部にあたるため出土遺物も少なく、それが確かめられた。名古屋市教育委員会の平田住宅部分の調査では銅鐸の鋳型が出土しています。
- 津田委員 清須市も名古屋市も朝日遺跡の範囲がまたがっている。もう少しうまく連携させて周知したほうがよいのでは。また、事業報告にももう少し具体的な内容が記載されるとわかりやすい。
- 加藤(安)委員 もうすぐ県清洲貝殻山貝塚資料がリニューアルされるので、そのあたりは、県と三者でタイアップしていけば解決されるのではないか。

●事務局 事業報告については、次回からは、わかりやすい内容となるよう工夫していきます。

(2) 平成29年度事業計画について

事務局より、別紙資料2に基づき文化財保護に関する平成29年度の事業計画について説明を行った。

○加藤（安）委員 文化財講座の第2回の戦争遺跡に関する回は、歴史資料展示室の「戦争と暮らし」展の会期中の方がよいのでは。

●事務局 講師と調整の結果、日程の都合と8月15日の終戦記念日の前の方が効果的ではという提案をいただいたので、このような日程となりました。他の講師の都合もあり変更は難しい状況。来年度は、こういった細かい点にも気を配っていきたいと思います。

○水野委員 事業報告、事業計画とも文化財保護に関する事業を熱心に行われていることは理解できる。ただ、こけら経の保存事業に係る予算はいくらなのか。平成29年度から清須学が企画政策課から生涯学習課へ移管されることで、予算が増額されていることがわかる。各事業にどのように予算が配分されているのか、市の中でどの位が文化財保護に予算が割り当てられているのかを資料に明記していただけると、非常に参考になる。

●事務局 予算については、清須市に合併以降横ばいの状況。例えば、文化財講座は旧清洲町で開催したもの。各町が行っていたものを引き続き継続して行っている。

○後藤委員長 清須学講座の定員は何名か。また、ボランティアの育成を考えているのか。

●事務局 清須学講座の定員は40名を考えている。清須学講座は生涯学習講座であるので、人材育成を目的としていない。しかし、受講者が自発的にガイドボランティア等の活動に興味を持つのであれば紹介をしていくつもりです。

(3) その他

○3月議会での文化財に関する質問について説明。

3月議会にて、市内に残存する屋根神様や長谷院多宝塔を文化財として保存ができるのかという質問がでた。この質問に対し、屋根神は市の指定文化財ではなく、町並み景観の一環として保存していく。現存する2件とも市の施設の屋根にある状況なので、現状のまま保存していく。

また、長谷院多宝塔については、文化財としての価値は認めるが、改変が著しいため現状では市として市指定文化財とする考えはない。所有者の要望があり、所有者から本会議の諮問の材料となるだけの調査報告書が提出され

れば、その可能性もあるのではと回答したと報告。	
閉会	
会 議 の 結 果	審議に関する事項はなし
問 い 合 わ せ 先	教育部生涯学習課 0 5 2 - 4 0 0 - 2 9 1 1 (清須市役所南館1階)